

13 殿下の里づくり組合 かじかの里山殿下部会

引き継ごう伝承の味、伝統の文化!



該当
カテゴリー

女性の活躍

伝統・継承

学校・企業



大学生と新商品の開発

概要

- 限界集落内唯一の商業施設(そば屋)の廃業危機に対して、地域の女性たち(60~80代)が農家レストランを立ち上げ、地域の伝承料理、地元野菜を使った創作料理を提供
- 人気のある惣菜を缶詰にして全国販売
- 大学生と連携してイベントの実施や、新商品の開発、店舗の有効利用など、地域の活性化に向けた取組を展開



成果

- 農家レストランの開業等により、地域への人の流れが、「通りすぎ」から「ワンストップ」してもらえる地域に変化
- 年間来店者も平成22年の数百人から平成26年約6千人に増加し、それに比例して売上げも約10倍に増加するなど地域が活性化

農業生産法人

14有限公司 かみなか農楽舎

の う が く し ゃ

農業で地域を元氣にする次世代リーダー育成

福井県 若狭町



該当
カテゴリー

定住・移住

研修

農林漁業
体験



田植え体験イベント



地元担い手との交流会



概要

- 都市からの若者の就農定住による地域活性化を目的に、農業技術、農業経営、機械メンテナンス等の2年間の研修を実施
- 一番の研修を「地域の一員になること」とし、集落行事、祭りなど地域の伝統行事に積極的に参加
- 各種機関と連携し教育旅行で農業体験を実施。将来農業を志す研修生と交流し、職業感も含め体験を提供



成果

- 平成13年から平成27年までに研修修了生22人が町内で就農、家族を含めると58人が町内に定住
- 定住者の農地集積は町内農地の10%以上に広がり、担い手として活躍
- 研修卒業生等の地域行事等への参加は、地元若者の参加やリターンのきっかけになるなど地域全体が活性化

えちぜん 13 口バス越前

日本一の伝統の技の宝庫を海外に発信

福井県 越前市



該当
カテゴリ

伝統・継承

インバウンド

子ども
(教育・体験)



地域の伝統 和紙の紙漉き体験



海外からの教育旅行の受け入れ



農業体験ツアーの実施

概要

- 農家に泊まって農業や自然体験、伝統産業体験を行うグリーン・ツーリズムを展開
- 旅行会社とタイアップした田舎暮らしツアーの受入、東京、中京方面・関西方面の子供の体験ツアーの受入



成果

- 子供の体験ツアーが144人から386人と約3倍増加(H23-27)、台湾からの教育旅行74人(H27)を受入れ
- 地域住民が地域の良さ、食の豊かさを再認識

特定非営利活動法人 ピアファーム

イキイキと働く 癒やしの果樹園でおもてなし



該当カテゴリー

6次産業化

地産地消

医療・福祉



梨の栽培をするメンバーとスタッフ



耕作放棄地の開墾作業



6次化商品の梨ジュースが好評

概要

- ◆耕作放棄地や廃園した梨園を、障がい者の就業の場として、果樹を栽培。
- ◆引退した農園主の指導の下で栽培、ジュース等への加工も実施。
- ◆直売所を開設し、生産した農作物、加工品のほか、契約した農家の農産物も販売。
- ◆ブドウ農園での摘み取り体験を開始し、外国人旅行者も受入れ。

成果

- 生産した農作物の売上は、約1,600万円から約2,200万円に増加(H24-H28)。
- 直売所の売上は、約2,500万円から約2.1億円に増加(H24-H28)。
- 障がい者の取組が、耕作放棄地の再生や地域の活性化に貢献。

お
ば
ま
あ
の
小浜市阿納体験民宿組合



ブルーパーク阿納空撮

該当カテゴリー

農林漁業・農山漁村文化体験

地元食材の提供・活用

食育・教育

福井県
おほほん
小浜市



〒 917-0105 福井県小浜市
阿納 11-8

tel 0770-54-3046

fax 0770-54-3539

mail kk-3046@ma.cho.ne.jp



初めてのチャレンジ マダイの捌き



漁村の暮らしの話に目を輝かせる子供たち

概要

- ◆ 養殖したマダイを「釣って、捌いて、食べる」体験施設を設置し、教育旅行の受け入れを開始。漁家民宿へ宿泊し、漁村集落特有の文化体験を行う。
- ◆ 毎年 20 ~ 30 校の県外の中学校などに漁家が訪問し、自ら地域の魅力を PR。
- ◆ 大自然の中でのシーカヤック体験、養殖イカダ・餌やりなど、地域資源を活かした新たな体験メニューを開発。

成果

- ◆ 漁家民宿への宿泊者数は毎年 2.5 万人を越え、平成 29 年度には、漁家 1 戸あたりの収入が約 430 万円増加。
- ◆ 体験学習施設の売上は、約 2,900 万円から約 5,600 万円に増加 (H25 ~ H29)。
- ◆ 体験をきっかけに県外から地元の高校に入学する生徒が 5 名現れるなど、定住や I ターンにもつながり、漁村集落の活性化にも貢献。

株式会社 若狭の恵

わ か さ め ぐ み



「ひまわり米」を含む特別栽培米の販売の様子



地元小学校の農業体験の受け入れの様子



年間8万人が訪れる「ひまわり畑」

ビジネス部門

雇用

若者・学生の活躍

その他(スマート農業)



〒917-0223 福井県小浜市加茂
2-4-1

tel 0770-57-2020

fax 0770-57-2080

mail maeno@wakasa-megumi.jp

概要

- ◆ 景観作物のひまわりを緑肥とした米の開発・直販に加え、自身の食材を提供するレストランを開設。
- ◆ 地域の雇用創出のため、営農サポーター制度を実施。地域の若者とベテランが協力する体制を構築。



- ◆ 米の売上高は、約7,300万円から約1.1億円へ増加(H26～H30)。
- ◆ 社員はすべて40歳代以下(うち3名が高卒者)。正規雇用者数は3人から11人に拡大(H27～H30)。
- ◆ 営農サポーター制度による地域の高齢者等の雇用者数は、H30年度には延べ約1,500人。

おはらえこ

小原 ECO プロジェクト



福井工大生による伝統的古民家の修復再生活動



国際ワークボランティアの棚田保全・農作業支援



希少種ミチノクフクジュウガ保全活動

概要

- ◆ 小原集落を拠点とし、都市住民との交流による地域活性化、自然資源の保全・保護等を目的に活動。
- ◆ 明治時代以降に建築された県内唯一の建築様式を取り入れた古民家を福井工業大学の学生と協力して修復。

成 果

- ◆ 過去 5 年間、毎年 1,300 人以上（令和元年度：1,350 人）が地域に来訪しており、エコツアーハウスには毎年 300 人以上（令和元年度：320 人）が参加。
- ◆ 地域に生息する絶滅危惧種のミチノクフクジュウガの保全活動には、NPO 関係者や小学生など毎年 130 人以上が参加。